

2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月31日

上場会社名 株式会社きもと 上場取引所 東
 コード番号 7908 URL <http://www.kimoto.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木本 和伸
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 丸山 光則 (TEL) 03-6758-0300
 四半期報告書提出予定日 2019年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	2,998	△15.3	△64	—	△98	—	△102	—
2019年3月期第1四半期	3,539	△0.5	127	—	183	—	248	—

(注) 包括利益 2020年3月期 第1四半期 △146百万円(—%) 2019年3月期 第1四半期 135百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	△2.08	—
2019年3月期第1四半期	4.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	24,392	18,726	76.8
2019年3月期	24,772	19,021	76.8

(参考) 自己資本 2020年3月期 第1四半期 18,726百万円 2019年3月期 19,021百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	2.00	—	3.00	5.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	2.00	—	3.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期(累計)	5,900	△14.1	0	△100.0	0	△100.0	0	△100.0	0.00	
通期	12,600	△7.1	0	△100.0	0	△100.0	0	△100.0	0.00	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	54,772,564株	2019年3月期	54,772,564株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	5,622,118株	2019年3月期	5,622,118株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	49,150,446株	2019年3月期1Q	50,150,446株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因により予想とは異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 7
3. その他	P. 7
(販売の状況)	P. 7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

連結 [減収・減益]

2020年3月期は、世界中で飛躍的にデジタル化が進む市場に向け、革新的な技術変化に対応した独自性のある高付加価値製品の開発・生産及びサービスの提供を推進してまいります。フィルム事業は、家電や自動車、産業機器などIoT関連製品の事業拡大と、コンパクトクリーンコーターを活かした幅広い分野での開発品の先行生産体制を構築し、品質及び利益率向上に注力いたします。データキッチン事業は、デジタルツイン事業部を新設し、技術と営業が一つの組織となりコミュニケーションの質とスピードUP、そして品質向上を目指し、デジタルツインを実現する、あらゆるデータの取得・加工サービスを様々な分野に提案します。また海外現地法人および国内外の協力会社と共に、グローバルにビジネスを展開いたします。

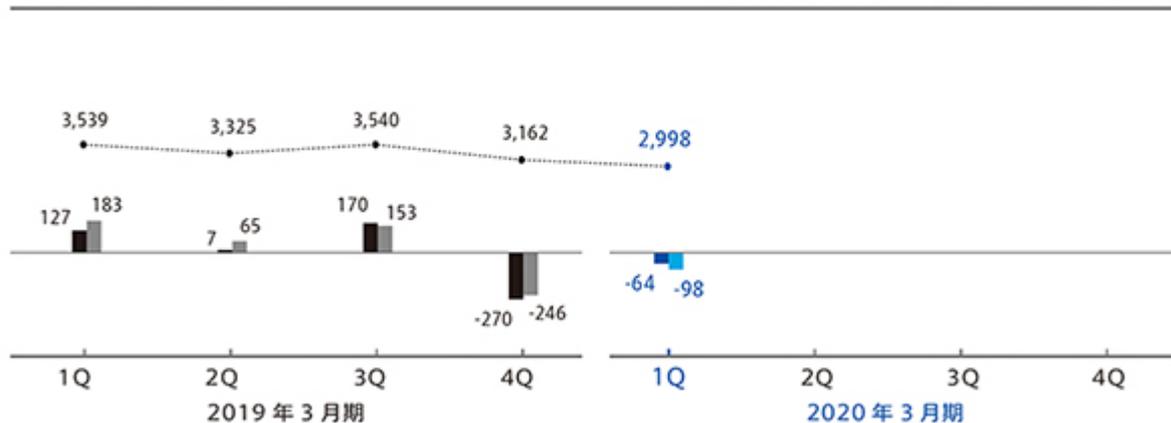
売上は、日本および東アジアのIoT関連製品の販売、北米製造品の販売が減少したことにより減収となりました。営業利益は、生産性を改善し原価低減に努めておりますが、IoT関連製品の販売が減少したことにより減益となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,998百万円（前年同四半期比15.3%減）、営業損失は64百万円（前年同四半期の営業利益は127百万円）、経常損失は98百万円（前年同四半期の経常利益は183百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は102百万円（前年同四半期の親会社株主に帰属する四半期純利益は248百万円）となりました。

※「デジタルツイン」とは、現実の世界（フィジカル空間）の出来事を、そのまま仮想の世界（バーチャル空間）でリアルタイムに再現し、現実の世界と連動することです。現実の世界に近いシミュレーションが可能になることから、次世代のものづくりや、私たちの暮らしを始め、様々な分野で活かされ始めています。

四半期毎の連結業績推移

●●● 売上高 ■ 営業利益 ■ 経常利益 単位：百万円



個別 [減収・減益]

売上は、日本のIoT関連製品の販売が減少したことにより減収となりました。営業利益は、生産性を改善し原価低減に努めておりますが、日本のIoT関連製品の販売が減少したことにより減益となりました。

これらの結果、当第1四半期累計期間における売上高は2,756百万円（前年同四半期比13.7%減）、営業損失は6百万円（前年同四半期の営業利益は152百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産、負債、純資産の状況は以下のとおりであります。なお、比較増減額はすべて前連結会計年度末を基準としております。

(資産)

総資産は前連結会計年度末に比べ380百万円減少し、24,392百万円となりました。主な変動要因は、受取手形及び売掛金の減少242百万円、電子記録債権の減少88百万円であります。

(負債)

負債は前連結会計年度末に比べ86百万円減少し、5,665百万円となりました。主な変動要因は、支払手形及び買掛金の増加148百万円、電子記録債務の減少116百万円、賞与引当金の減少116百万円であります。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べ294百万円減少し、18,726百万円となりました。主な変動要因は、利益剰余金の減少249百万円、為替換算調整勘定の減少39百万円であります。これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末と同じく、76.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期業績は、日本および東アジアのIoT関連製品、北米製造品の販売が減少したことにより減収となりました。

第2四半期以降も厳しい状況が続くと見込まれることから、2019年5月10日公表の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては本日、別途公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,638	12,620
受取手形及び売掛金	3,125	2,882
電子記録債権	613	524
商品及び製品	487	519
仕掛品	408	475
原材料及び貯蔵品	407	505
その他	194	142
貸倒引当金	△11	△10
流動資産合計	17,864	17,661
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,568	2,537
機械装置及び運搬具(純額)	2,133	1,997
土地	791	791
建設仮勘定	22	48
その他(純額)	192	181
有形固定資産合計	5,708	5,556
無形固定資産		
ソフトウェア	131	119
ソフトウェア仮勘定	-	0
その他	42	40
無形固定資産合計	173	161
投資その他の資産		
投資有価証券	840	834
繰延税金資産	64	62
その他	290	280
貸倒引当金	△168	△163
投資その他の資産合計	1,026	1,013
固定資産合計	6,908	6,731
資産合計	24,772	24,392

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,054	1,202
電子記録債務	1,369	1,252
未払法人税等	99	21
賞与引当金	228	111
その他	807	860
流動負債合計	3,559	3,449
固定負債		
退職給付に係る負債	2,052	2,069
長期預り金	99	99
繰延税金負債	16	24
その他	23	23
固定負債合計	2,192	2,216
負債合計	5,751	5,665
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,274	3,274
資本剰余金	3,427	3,427
利益剰余金	14,000	13,750
自己株式	△1,478	△1,478
株主資本合計	19,223	18,974
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	116	101
為替換算調整勘定	△120	△160
退職給付に係る調整累計額	△198	△188
その他の包括利益累計額合計	△202	△247
純資産合計	19,021	18,726
負債純資産合計	24,772	24,392

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	3,539	2,998
売上原価	2,549	2,260
売上総利益	990	737
販売費及び一般管理費	863	802
営業利益又は営業損失(△)	127	△64
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	3	1
受取手数料	0	0
物品売却益	0	0
為替差益	42	-
その他	8	3
営業外収益合計	55	8
営業外費用		
支払利息	-	0
為替差損	-	41
その他	0	0
営業外費用合計	0	41
経常利益又は経常損失(△)	183	△98
特別利益		
在外子会社清算に伴う為替換算調整勘定取崩益	142	-
特別利益合計	142	-
特別損失		
固定資産廃棄損	3	0
特別損失合計	3	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	322	△98
法人税等	74	4
四半期純利益又は四半期純損失(△)	248	△102
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	248	△102
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9	△15
為替換算調整勘定	△114	△39
退職給付に係る調整額	11	10
その他の包括利益合計	△112	△44
四半期包括利益	135	△146
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	135	△146
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

3. その他

(販売の状況)

事業区分	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)		(参考)前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	
	外部顧客への 売上高 (百万円)	前年同四半期 増減率 (%)	外部顧客への 売上高 (百万円)	前年同四半期 増減率 (%)	外部顧客への 売上高 (百万円)	前連結会計年度 増減率 (%)
フィルム	3,279	0.8	2,759	△15.9	12,280	△9.1
データキッチン	84	△2.9	69	△17.9	503	7.0
コンサルティング	0	5.0	—	△100.0	8	△59.8
その他	175	△18.9	170	△3.2	776	△12.2
合 計	3,539	△0.5	2,998	△15.3	13,568	△8.8

(注)上記金額には、消費税等は含まれておりません。